

職員による自己評価

- A環境面
  - ・構造上トイレ入り口段差あり
  - ・教室全体の掃除の徹底、アルコール消毒実施
- B業務改善
  - ・連絡事項等、毎日のミーティングにて周知
  - ・全体での研修が少ない
- C支援の提供
  - ・項目ごとに療育記録の実施徹底
  - ・保護者参加型イベントにて普段の様子や交流機会を設けている
  - ・作業課題など児童に合わせた個別課題の設定
- D関係機関や保護者の連携
  - ・区の連絡会へ参加
  - ・通園・通学中に訪問連携
- E保護者への説明責任
  - ・説明会・保護者会の開催
  - ・職員体制について連絡ツールで発信
- F非常時の対応
  - ・定期的に避難訓練を行っている。

保護者による評価

- A環境面
  - ・おやつの量が少ないと感じる
- B児童への支援内容
  - ・学校休業日には、外出やクッキングが多く楽しみにしている
  - ・職員の人柄が優しく、信頼している
  - ・地域の児童との交流は必要性を感じていない
- C事業所からの情報発信
  - ・兄弟向けイベントは聞いた記憶がない
- D非常対応
  - ・一部認知されている

事業所内での分析

【共通点】

- ・保護者との関わりを重視している
- ・児童への丁寧な対応・個別配慮が評価されている

【相違点】

- ・事業所の取り組みと保護者の認知にギャップがある
- ・おやつが少なめと感じるなど、施設利用中の細かい満足度が重視される

分析・検討してみても…

### 事業所の強み

- ・個別課題や療育記録の徹底、保護者参加型イベントの実施など、児童一人ひとりに合わせた支援を行い、保護者との交流機会も確保している。
- ・職員の人柄が優しく信頼されており、学校休業日の活動(外出・クッキングなど)も児童に喜ばれている。
- ・区の連絡会への参加や通園・通学中の訪問連携、定期的な避難訓練など、関係機関との連携や非常時対応も実施済み。

### 事業所の改善点

- ・全体研修の機会が少ないため、職員間でのスキル共有や情報の統一が不十分な場合がある。
- ・イベントなどの情報が十分に伝わっていない、非常時対応の認知度が一部に留まっているなど、情報発信の改善が必要。
- ・おやつの量や活動内容に関する保護者の要望への柔軟な対応も検討。

### 事業所の改善への取り組み

衛生面や個別支援、保護者との信頼関係、非常時対応など基礎的な運営はしっかり行われている一方で、施設構造や研修機会、情報発信の不足が課題として挙げられる。  
今後は、物理的環境の改善や研修・情報共有体制の充実、保護者への丁寧な情報提供を強化することで、より安心・信頼される事業所運営につながる。

事業所名 ブロッサムジュニア横浜鶴見教室

担当者 川 名